

Kita Alps
地域おこし
協力隊通信
Vol.4

北アルプス地域振興局
企画振興課

はじめに

北アルプス地域（大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村）では、2020年4月1日現在32名の地域おこし協力隊員が活動しています。

特産品開発や移住・定住促進に取り組む隊員、住民の生活支援や農作業支援に取り組む隊員など、その活動内容は隊員によって様々です。

本通信では、そんな多種多様な活動を行う隊員の日ごろの活動や任期後の目標等についてインタビューをし、記事としてまとめました。

隊員の皆様は、他地域の隊員の活動を知ること、今後の活動の参考にしていただければと思います。

また、サポーターの皆様は、本通信を通して、隊員活動への理解を深めていただければ幸いです。



長野県PRキャラクター
「アルクマ」©長野県アルクマ

Profile

任期：平成 31 年 4 月～

出身地：京都府京都市

前居住地：神奈川県川崎市

前職：美術製作会社

趣味：登山など

目標：大町で家族共々楽しく暮らしていくこと

※掲載内容は R2.10 月時点のものです。



大町市地域おこし協力隊
まちづくり交流課

ながすみ まつり

永澄 祭さん

主な担当業務

- ・芸術祭ボランティアサポーターに関わる業務
- ・市民活動サポートセンター業務 等

隊員になる前まで

美術製作会社で、建物の内装・外装の特殊塗装や壁画制作などを担当していました。

隊員になったきっかけ

都会の生活に満足し、山の近くに住みたいと思って移住先を探していた際、大町市の移住セミナーに参加したのがきっかけでした。その後、現地ツアーに参加して先輩移住者の方や地元の方々と交流し、自分にとって馴染みやすい街だと思い、大町への移住を決めました。地域おこし協力隊については、現地ツアーの際に教えていただき応募しました。

大町市に住んでみて

移住者も多く、何かあればすぐに相談できるのがありますね。古い一軒家の自宅は、友人に教わりつつ、自分達で改装を進めながら住んでいます。また、登山が好きなので、すぐに山へ登りに行けるのが嬉しいです。

一方で、行政や地域の中で「山は山、街は街」と分けて認識されている空気も感じています。例えば、立山黒部アルペンルートは観光地として有名ですが、登山客も数多く利用しています。しかし、主な誘客の対象は日帰り観光客であり、登山客にはあまりスポットが当たりません。また、街中で登山客を見かけることも少なく、もう少し登山客を街に呼び込めればなと感じています。観光地としての伸びしろがあるのが大町の面白さだと思っています。

担当業務

大町市で開催している北アルプス国際芸術祭の担当をしています。昨年度は、ボランティア

アサポーターに関わる業務などを担当していました。

一方、今年度は新型コロナウイルスの影響で芸術祭が延期となったため、現在は市民活動サポートセンターで勤務しています。センターでは、自治会の事務局や市民活動団体のサポートをしています。例えば、市民活動団体がイベントをする際の情報発信やセミナーの企画、チラシの制作などです。元々の業務内容からは変わってしまいましたが、地域の方と関われる良い機会だと感じています。



北アルプス国際芸術祭
ボランティアサポーター説明会の様子



チラシの製作などを通じ、
情報発信のお手伝いをしています。

意識して取り組んでいること

業務の合間を縫って、地域の魅力発信に取

り組んでいます。昨年は、山岳博物館にオリジナルの雷鳥の自販機を塗装し設置しました。

自販機は、市が企画・製造するペットボトル飲料水「信濃大町湧水」販売のために設置されたもので、「大町の自然と生き物をPRする自販機」というコンセプトで作りました。作業はイラストレーターをしているもう一人の隊員（貝津さん）と協力して行い、貝津さんが描いたデザインをもとに制作しました。

現在は、鷹狩山の展望台に設置されている山の絵のリニューアル作業をしています。地域おこし協力隊として採用されているので、今後もうこうした地域の魅力を伝える活動を自分なりに続けていきたいと思っています。



雷鳥の自販機は迫力満点！

今後について

山が好きで大町に来たので、山と街の距離感を縮められるような活動をしたいと思っています。いつか、温かいコーヒーやおにぎりの提供と共に、地元の名産のPRを山の登山口でできればと考えています。これと併せて街中に拠点を作り、山から街への人の流れを少しでも増やせたら嬉しいですね。残す任期も残り1年半ほどなので、実現に向け、今から具体的によく考えていきたいと思っています。



☆永澄さんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんにメッセージ☆

休みの日は大町に限らずいろんなところに出かけているので、どこかで見かけた際にはぜひ声を掛けていただくと嬉しいです。よろしく願いいたします。

主な担当業務

- ・移住相談対応
- ・移住イベントでのPR
- ・村内視察ツアー対応 等



Profile

任期：平成 30 年 9 月～

出身地：福岡県飯塚市

前居住地：東京都板橋区

前職：銀行、IT ベンチャー企業

趣味：日帰り温泉巡り、登山

目標：地方移住を当たり前の選択肢に！

※掲載内容は R2.10 月時点のものです。

隊員になる前まで

「お金に関する知識を身に着ければ今後の人生で役立つはず」と考え、新卒で銀行に就職しました。そこで法人営業として3年間勤務した後、より自由な社風の企業への転職を考え、ITベンチャー企業を複数渡り歩き、経理・財務や法人営業を担当しました。

隊員になったきっかけ

同じ会社で長年勤めるキャリアも考えましたが、将来を想像したときにモチベーションが上がらませんでした。そこで、東京に残っての転職や好きなネパールへの移住なども検討した末、最終的に北アルプス地域で就職しようと決めました。元々北アルプスが大好きだったことや、都内勤務の夫(当時は結婚予定)が2拠点居住できることが決め手でした。その際、「副業ができる」を第一条件に転職先を探していたのですが、たまたま隊員の方(松川村ではないですが)にお会いする機会があり、協力隊にはそれがきっかけで興味を持ちました。その後、協力隊の求人を探し、松川村の募集を見つけて応募しました。

松川村に住んでみて

松川村は山が近く川もきれいで、余計なものがないのが魅力ですね。「ちょうど良いバランス」というのは人によって違うと思いますが、松川村は生活に便利で、松本にもすぐ行けますし、非常に住みやすいです。何より、北アルプスを眺めながら暮らせるのが嬉しいですね。

現在の業務

移住相談を主に担当しています。業務の内

容は、東京や大阪などでの村のPRや個別相談がメインです。今年には新型コロナウイルスの影響もあり、村内視察ツアーや移住者向け住居の確保など、移住の意思が強い方へのサポートや受け入れ体制の整備に力を入れています。

村が特に呼び込みたいのは自分のような若者・子育て世代だと思うので、業務では若手移住者としての視点を生かした相談対応や提案を心掛けています。例えば、ネット環境はどうか、ファシションはどこで買うか、この地域ならではの休日の楽しみ方の提案などです。また、2拠点居住等に関心がある相談者の方に対しては、実際に夫がそのような働き方をしているの、村への移住について安心感を与えられているなど感じています。

意識して取り組んでいること



移住相談の様子

協力隊の給与だけでも生活はできますが、私は生活水準を下げたくなかったので、「足りない分は稼ぐ」を信条に、副業を通じた生業づくりに継続して取り組んでいます。具体的には次のようなものです。

・Webコンテンツ制作

・ECサイト運用

・ブックカフェ経営

・レストフンでのアルバイト(飲食関連での起業を見据えて1年目から継続。ノウハウがブックカフェにも役立っています。)

「地方に住む収入が減って生活水準が下がる」というイメージでは、今後移住者は増えていきません。「収入が足りないなら生活の水準を下げる」ではなく、「地方でも収入を得る手段を確保していく」という生き方を、自ら示していければと思っています。

今後について



ブックカフェ。テレワークや作業も歓迎です。

任期後も松川村に残って、副業のブックカフェを派生させた形で起業したいと思っています。既に目指すカフェの雰囲気やオペレーションも具体的に考えています。

「お祭りの騒ぎだけして、その後サーッとなくなるといふようなやり方では、地域には何も残りません。地に足をつけながら、今後も大好きな北アルプス地域で暮らしていきたいです。

ブックカフェ「本と喫茶しんしん」

営業時間：第2・第4土曜日 10:00~17:00

住所：池田町池田 4345-3 シェアバスにぎわい

店主自ら選書した本を販売しています。

スパイスカレーや季節のサンドイッチもどうぞ！

☆浅田さんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんにメッセージ☆

息抜きしながら楽しくやっていきましょう^^

Profile

任期：平成 30 年 6 月～

出身地：アメリカ合衆国オクラホマ州

前居住地：愛知県名古屋

前職：小・中学校英語教師

趣味：登山・トレイルラン・海外旅行、写真

目標：初外国人として TJAR (トランスジャパンアルプスレース) に参加すること。

※掲載内容は R2.10 月時点のものです。



小谷村地域おこし協力隊
柵池高原観光協会

デクレット ポールさん Deckret Paul

主な担当業務

・柵池高原観光協会業務 等

隊員になる前まで

日本には約 17 年間住んでいます。大の山好きで、「国土の 70% 以上が山」という日本の紹介を読んだのが来日のきっかけでした。

来日当初は、岐阜市で 1 年 3 ヶ月英会話講師をしました。その後米国への一時帰国を経た後、名古屋市に移り住んで愛知県の小・中学校で英語教師をしました。当初は A L T を担当し、最終的には N E T (ネイティブイングリッシュティーチャー) としてメインの教師を務めました。

隊員になったきっかけ

教師の仕事はやりがいがあり大好きでしたが、自分が本当に情熱を感じるのには山やアウトドアでした。そこで、当時の同僚に相談したところ、地域おこし協力隊のことを教えてもらい、小谷村の求人を見つけて応募しました。

小谷村に住んでみて

空気がきれいで、すぐに山へ行くことできて最高ですね。また、知り合いと車でずれ違えば必ず手を振ってもらえるなど、小さなコミュニティならではの良さを感じています。不便なこともあります。大変なことがあった方が「生きている」と感じられるタイプなので、それも含めて小谷村が好きです。

一つだけ残念なのが、小谷村の知名度がまだまだ低いことです。この地域は「白馬バレー」と呼ばれ、特に観光面で小谷村の名前があまり使われないのが理由の一つかもしれません。私は外国人ですが、小谷村を「日本のリアルな田舎」と感じているので、観光地の白馬村とはま

た違う良さがあると思っています。小谷村の魅力方をよりたくさんの人に伝えたいですね。



柵池自然園
(ポールさんおすすめスポット)

現在の業務

基本業務は柵池高原観光協会での窓口業務や、メール・電話対応です。外国人対応はほぼ全て私が担当しています。また、付近のホテルの標識作成やメニューの翻訳、外国人相手のトラブル対応など、依頼があればほぼ全て対応しています。特に冬は毎年忙しいです。

しかし、今年はコロナの影響でインバウンドのお客様がめっきり減ってしまい、仕事は比較的落ち着いています。その分、空いた時間を任期後に向けた活動に充てています。



モニターツアー案内士
を務めた時の様子

意識して取り組んでいること

地域を知ることです。自分が地域のことを知らなければ、観光客の方へも案内できません。そのため、スキー・スノーボードや登山など、地域で P R しているアクティビティを自分自身でも満喫しています。

また、任期後に向けた準備として、ガイド関係の講習受講や資格の取得を進めています。例えば、小谷村観光連盟主催の塩の道ガイド講習や、安曇野市英語観光・登山ガイドの資格などです。その他にも、アドベンチャーリズムやトレランツアーを手掛ける海外企業に連絡し、小谷村の紹介や現地ガイドの提案といった P R にも取り組んでいます。



秋の焼岳にて

今後について

任期後も小谷村に残り、英語ツアーガイドなどをしながら生活していくつもりです。W a i k J a p a n というイギリスの企業が塩の道ツアーを企画していて、開催すれば私が現地ガイドをする予定です。残り任期もあと 7 カ月ほどなので、しっかりと準備を進めていきたいと思います。

☆ポールさんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんにメッセージ☆

まず自分の住んでいる地域の良いところをたくさん見つけて、しっかりと楽しんでください。そして、周りにいる人々を大切に、仲良くしてください。その 2 つだけを頑張れば、きっと感謝の気持ちで毎日ハッピーにいられます！

Profile

任期：平成 29 年 5 月～令和 2 年 4 月

出身地：神奈川県

前居住地：東京都

前職：ギャラリー経営

アートコーディネーター

隊員時の活動：ハーブの推進・振興 等

※掲載内容は R2.11 月時点のものです。



元池田町地域おこし協力隊

かつまた 勝俣 ゆき子さん

現在の活動

- ・信州大学勤務
- ・ハーブ関連商品の企画・開発 等

隊員になる前まで

アートコーディネーターとして、東京都文京区で民芸や陶芸を扱うギャラリーを運営していました。

隊員になったきっかけ

カナダに住んでいたこともあり、クラフトパークから望む北アルプスの絶景に感動し、池田町への移住を決めました。地域おこし協力隊については、地域定着のための仕組みが整っている点や、町の特産品であるハーブのブランディング・振興という業務内容に魅かれて応募しました。

任期中の活動プラン

業務内容については、美術とハーブで扱うものは異なりますが、ブランディングや6次産業化の推進という点で共通点があり、前職の経験を活かせると考えました。また、東日本大震災による経営難を経験したことから、測の事態にも対応できるような複数の仕事を持たせたいと考え、池田町の協力を志望しました。

隊員時の業務

花とハーブの里推進係に所属し、池田町のハーブの特産品を振興する活動を行いました。2年目の平成30年には、街の資源を組み合わせた地域活性化に向けた取組として、「日本酒&ハーブカクテルコンペティション」を開催しました。また、コンペで入賞した5作品についてレシピをまとめた冊子を用意したほか、メニューとして採用した飲食店をHPで紹介しました。この取組は各種メディアに掲載していただくなど、多方面から評価いただきました。

意識して取り組んだこと

農業もハーブも初めてのことだったので、次のような資格を取得して知識を増やしました。

- ・地産地消コーディネーター（農水省）
- ・アロマテラピー検定1級（AEAJ）



日本酒&ハーブカクテルコンペティション 授賞式の様子

- ・信州大学連携コーディネーター（令和元年度より2年間委嘱）
- ・薬草指導員（長野県）
- ・農村生活マイスター（長野県）

また、6次産業化に関するものを中心に積極的に研修に参加し、自分の業務をいかに任期後の事業に結び付けるかを考えました。研修では全国の協力隊や企業の方と繋がることができ、同じ志を持つ仲間を作る良い機会になりました。



資格を活かしてハーブティ講座を開催

現在について

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構の研究推進支援員をしています。また、空いている時間に起業しながら、地域おこし協力隊中の事業に引き続き取り組んでいます。

今後について

「日本酒&ハーブカクテル」の商品化に向け、来年度にはふるさと納税返礼品を作りたいと取り組んでいます。それ以外にも、ハーブボール、ハーブドレッシングなども開発中です。また、6次産業化研修で知り合った皆さまと協力してまいります。

隊員の皆さんへ

全国各地おこし協力隊研修などは、今後皆さんが起業などを行う上で、事業開始準備や仲間作りの良い機会になります。ぜひ参加してみてください。



Alps Sake&Herb Plus⁺について

北アルプス地域の特産品のハーブと、地域に限定す酒造とのコラボをすることを目指して取り組んでいます

日本酒×Herbs 「Alps Sake&Herb Plus⁺」



←読み取るとHPに移動します。ぜひチェックしてみてください☆

NPO 法人 ぐるっとネットワーク大町



理事長 佐藤 悟 さん

NPO 法人 ぐるっとネットワーク大町について

地域の魅力を掘り下げながら、地域で活動されている人たちをつなぎ、大町市を中心とした北アルプス山麓の魅力発信に取り組んでいます。現在、地域を体感するガイドツアーの実施、地元小中学生の地域学習サポート、地元食材を使った食のおもてなし、自転車大会の運営サポートなど、幅広く活動しています。また、地域資源を活かした仕事づくりや地域おこしにも取り組んでいますので、隊員の皆様と連携した活動ができれば嬉しく思います。



地域情報マップ「ぐるっと MAP」

佐藤さんからメッセージ

協力隊のみなさん、北アルプス地域へようこそ！ここは豊かな資源に恵まれた素晴らしい地域です。ここがみなさんの故郷になることを願っています。力を合わせて、オンリーワンの地域を創っていきましょう！

隊員の皆様へ

地域を知り、地域の方とつながる場をご提供できればと考えています。発足から10年間、市民活動や郷土の食、地域資源のトリビアが蓄積されています。また、ご相談の内容によりその分野の達人とつなくお手伝いいたします。「地域を知る窓口」として是非ご活用ください。



自転車イベントでのおもてなし

※相談を希望される場合は、市町村担当者までご連絡をお願いします。

【相談窓口等のご案内】

地域おこし協力隊サポートデスク ※総務省からの委託を受け移住・交流推進機構 JOIN が運営しています。

地域おこし協力隊になった方へのケアサポートを行っています。隊員として頑張っている中で、壁にぶつかったり、上手くいなくて悩んだりした時に、周りの方に相談しにくいような場合には、一人で抱え込まず、こちらの相談窓口までお気軽にご連絡ください。専門的な相談には、隊員 OB・OG の専門相談員が対応します。

また、地方公共団体職員からの相談も受け付けています。

隊員向け窓口：TEL 03-6225-2318 地方公共団体職員向け窓口：TEL 03-6225-2319

URL：<https://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/7626.html>

※メールでの相談も受け付けています。申込フォームは上記 URL からご確認できます。

ながの創業サポートオフィス

創業を考えている方のご相談に応じて創業前から創業後まで一貫してサポートしています。相談無料、秘密厳守。「創業を考えているけれど何から始めていいかわからない」「国・県・市町村の創業に関する支援策を知りたい」「事業計画や資金計画をどう進めたらいいのかわからない」といった方はこちらにご相談ください。

相談窓口：TEL 026-269-7359 E-mail sougyou@icon-nagano.or.jp

長野県事業引継ぎ支援センター

当センターでは、創業を目指す方などと後継者を求めている企業・個人事業主が相互の希望条件を登録することで、事業引継ぎのマッチングを支援する仕組み「長野県後継者バンク」を設けています。創業を考えている方は、引継ぎによる創業も一つの方法としてご検討いただき、興味・関心のある場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

相談窓口：〒380-0936 長野市中御所岡田 131-10 長野県中小企業会館 3 階

TEL 026-219-3825 FAX 026-219-3826

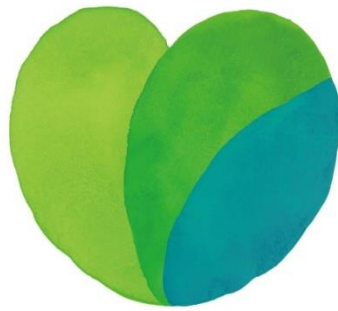
URL <https://www.icon-nagano.or.jp/cms/modules/center/index.html>

なお、「長野県後継者バンク」の詳細は、上記ホームページで確認できるほか、お申込手続は、お住いの商工会議所・商工会、または県内に本店のある金融機関本支店にて受け付けています。

長野県地域おこし協力隊総合情報発信ページ

協力隊 OB・OG が管理者となり、県内の地域おこし協力隊関係者が活用可能な Facebook ページを運営しています。地域のイベント・特産品・観光地・協力隊員の PR などにご活用ください。

URL <https://www.facebook.com/naganokyouryokutai/>



しあわせ信州

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

Kita Alps 地域おこし協力隊通信

Vol.4 (2020.12.10 発行)